



明けまして おめでとうございます！ 関東南部では比較的穏やかな天候の元旦でした。  
「古民家だより」を今年もよろしくお願ひ申し上げます。

いにしえびと

## 古人との対話 大道遺跡の発掘

ちょうど1年ほど前、増林地区で市域最古の住居址が発見されました(増林中妻遺跡)。3世紀後半のもので、それまで一番古いとされていた見田方遺跡より300年ほど遡る遺構です。

一方、大道遺跡は古代(平安時代:9世紀頃?)から近世後半(江戸時代:19世紀)までの遺構が重なっている遺跡です。市域の古代~中世の史料はそれ以降のものより格段に少ないので、大道遺跡はその間隙を埋めていくことが期待されています。

## 村社に向かう道？ 大溝は何を語る？

今回(平成30年度後半)の発掘状況について、12月20日に現地で説明会が行われました。午前と午後合わせて148名の方にご参加いただきました。場所は旧大道村の村社・香取神社の南西です。発掘状況(下図と写真)をご覧ください。分析・考察と遺物の様子は、今後発掘調査報告書として刊行される予定です。

(平成13、15、26年度分の発掘調査報告書Iは、市立図書館で閲覧できます。)



元荒川の自然堤防(度重なる洪水で運ばれた土砂による微高地)上の遺跡で、以前の調査では周辺に9世紀の竪穴住居址が発掘されています。この頃、各地で武士が登場しようとしていました。日光道中が整備されるずっと前のことです。

# どうして そこにあることが わかるの？

これは発掘に参加した中学生の言葉です。そこに遺構（住居址など）があったことを示した昔の図面があって、それに基づいて掘っているのだろうか、中学生でなくても考えてしまいます。そういう史料があれば参考にできますが、中世以前の史料はないことがほとんどです。

今年度の発掘調査では、「中学生社会体験チャレンジ事業」として、7校の中学生が合わせて70名参加しました。栄進中学校、中央中学校、北中学校、千間台中学校、西中学校、新栄中学校、南中学校です（実施順）。その感想文を紹介しましょう。上の疑問の答えを感じ取った生徒もいました。

- ★今、みんなが歩いている地面より60cmも下、有機物が混ざって黒く変色した土をゆっくり掘っていくと、赤茶色の土に遺跡がありました。
- ★発掘とは・・・地面の色が分かるように平らにして黒と茶色の部分を見つけ、黒い部分を掘っていきます。
- ★土の微妙な色の变化から、ここに何かあるのか調べるのが楽しかったです。
- ★掘り下げた時、土の硬さが場所によってあまりにも違うことが驚きでした。この体験を通して勉強がいかに大切なことかわかりました。歴史はもちろん、国語、数学、理科、すべての教科をしっかり勉強して仕事の可能性を広げていきたいと思いました。
- ★どんどん掘るのかと思っていたけれど、半分だけ掘るとは思いませんでした。（遺構の地層を観察・記録するためです）遺物を発見してもすぐに取り出すのではなく、印をつけておくことや、少しずつ上から削っていくんだなと思いました。



ベテランの方から丁寧に教わりました。遺物が出た所には竹串を差して位置を計測します。



- ★区画整理などで遺跡が壊されてしまう前に、一所懸命に頑張っている姿（市の職員やシルバー人材センターの方々）がとても印象に残っています。普段何気なく通っている道も、もしかしたら未知のものが埋まっているかもしれないと考えると、とてもわくわくします。
- ★僕は自分の住んでいる越谷市に遺跡があることも知りませんでした。しかしいざ発掘してみると土器などが出てきたりして、とても貴重な体験になりました。
- ★ラジオ体操から始まった仕事体験は、私の心にあった不安や朝の眠気を吹き飛ばしてくれました。掘っていく中で、この地層はどこまで続いているのか、いつ遺跡が見つかるかなどを考えていたら、楽しくわくわくした気持ちになりました。
- ★今回の体験を通して、僕は人との関わり方、接し方を学びました。誰にでも同じように接するのではなく、その人に合った接し方を心がけて生活したいです。

知的好奇心が刺激され、地道な作業の中で想像力を高めていった様子が伝わってきます。その時、もしかしたら古人と対話していたのかもしれませんが。遺物はいつも見つかるわけではありません。それだけに、発見した時の気持ちを綴っている生徒が多くいました。古の時代の人と時を隔てて共に同じ物や地面に触れているという感動は貴重なものですね。その感動は想像力を醸成する原動力になるかもしれません。

また普段とは違う大人と共同することで、人間関係について学んだ人も少なくありませんでした。各中学校の1年生または2年生が2日ずつの体験でしたが、後日届けられたお手紙には市の職員やシルバー人材センターの方々への丁寧なお礼の言葉が記されていました。担当の先生方のお気持ちも伝わってきました。ありがとうございました。